

2019年2月7日

お客様各位

株式会社 オサシ・テクノス
代表取締役社長 矢野 真妃

ASP フィールド情報サービスの障害につきまして

謹啓

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびは、フィールド情報サービスの障害によりご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。当方にて原因を調査いたしましたので、ご報告いたします。

謹白

記

1、障害状況

2月2日8時～14時 ソフトウェア障害により顧客向けのWebサービスが閲覧できない状態となった。また、2月2日6時～18時 現場からのデータが取得できず、欠測した。

2、原因

昨年夏以降の観測現場の急増に伴い、データメール処理数が増加していた。そのことで特に異常は見られなかったが、本不具合発生時点で欠測などによるデータリカバリー処理が重なったため、ASPのメールサーバにおいてメール処理の遅延が発生した。この遅延によりASPの定期処理の所要時間がオーバーフローして、次々と遅延が連鎖し、最終的にサーバの動作が停止した。

3、暫定対策について

- ① 定期処理の所要時間超過を引き金とする動作停止が発生しないよう、処理要領を改善する。
上記については、2月3日（日）のメンテナンス時に対策済み。
- ② メールサーバ遅延を解消するための最適化処理を盛り込む。（2月下旬を予定）
- ③ サーバの処理容量上限の引き上げを行う。（2月下旬を予定）

4. 今後の対応（恒久対策）

ASPを長期間安定して運用する為に、障害に対して高い耐性を備えている安全なクラウドへの移行も視野に入れ、システムの冗長化を計画する。

ご利用いただいているお客様には、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。

今後、このようなご迷惑をおかけすることのないようサービスの向上に誠心誠意努力してまいります。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

以上